

### 留学生挨拶

4月7日～7月25日まで舟入高校に留学していた佐々木ミレナさんと佐々木コリンさんが、夏休み前の学校集会で最後の挨拶をしてくださいました。この4か月は舟入生にとっても2人にとっても忘れ難いものになりました。異なるバックグラウンドの人達と共に学べる機会を持てるというのはとても貴重な経験です。国を越えてお互いの価値観を尊重し合えるような関係性を築いていくことが、平和への一歩になるのではないのでしょうか。今後とも留学生が舟入に来てくれます。その時はぜひ積極的に交流を試みてください。



あっという間に4か月が経ち、ドイツに帰る時が来ました。この1学期間、本当にお世話になりました。みなさんはとても親切で、当たり前のように助けてくださいました。高校では文化祭もあり、ドイツにはないイベントに参加できたことも嬉しく思います。生徒のみなさんは明るくて楽しそうで、それでいてちゃんと勉強も頑張っていて、すごく感動しました。ただ、疑問に思うこともありました。授業を受けたときに気づいたんですけど、授業は先生が話すだけの一方通行なものでした。先生の話聞くだけでなく、自分から意見を言って、質問があったらちゃんと聞いて、とにかく声を出して、他の生徒たちと話し合っ、違う意見を共有すれば、授業ももっと楽しく、さらに充実するんじゃないかな、と思いました。自分の意見を話せることはものすごく大事なことだと思います。「以心伝心」という言葉があるように、日本の社会は言葉にしなくても自分の答えや気持ちを汲み取ってくれる文化です。けれど、外国にはそれが無いと思ったほうが良いです。外国では言葉にしないと分かってもらえないことが多いです。自分の意見を言うことは外国では当たり前のことなので、特に国際科で学ぶみなさんはぜひ自分の意見を言葉にできるようにしてください。みなさんのおかげでこの4か月間楽しく過ごすことができ、忘れられない思い出も作ることができました。ありがとうございました。そして、いつも面倒を見てくれた北村先生、柏原先生本当にありがとうございました。私もドイツに帰ったら勉強をもっと頑張りたいと思います。ドイツの学校は8月25日から始まります。みなさん夏休みを楽しんでください。

1学期が終わり、今日が舟入高校に通う最後の日です。お世話になりました。困っていた時もいつも優しくて親切なみなさんはとてもありがたかったです。遠足や文化祭を含め、毎日色々素敵な思い出ができました。最初クラスへ来た時に、たくさんの宿題をこなして真面目に勉強しているみんなに驚きました。その努力はドイツでは当たり前じゃないのですごいです。ドイツではそれほどみんな勉強をしていません。多分。そしてドイツ人として不思議と感じた点もありました。みんなすごく一生懸命に勉強しているのに、ほとんどの生徒が英語をきちんと話せない。自分にとっては、このことは正直かなりのショックでした。どこかに問題があるのでしょうか。またミレナと話したのですが、授業では生徒も積極的に参加して、間違えることを恐れずに、自分の意見を発表してほしいです。自分とは違う考え方をもっと色々聞いてみたかったですね。それと僕は「言葉はすごく自由を与える力」だと思います。英語が話せたら世界のほとんどの人と話せます。みなさんにはその自由を体験できる世界人になってほしいです。今回の留学は僕にとっては超貴重な体験となりました。それを味わえることができたのはみなさんのおかげです。本当にありがとうございました。いつかどこかでまたお会いできる日を楽しみにしています。ありがとうございました。

2年5組 佐々木コリン

*Milena and Colin, thank you for coming to study  
at Funaitri High School!  
We hope our paths will cross again in the near future.*

